



6月に入り、レタスの出荷が始まっている農家さんが多いのではないのでしょうか。忙しい時こそ余裕をもって、花を見て癒されたいですね。

大弛峠ではレンゲツツジの花が見事に咲き誇っていました。険しい峠道を通るライダー、登山者やクライマーに安らぎのひと時を与えているのではないかと想像できます！

7月の中旬には、ハクサンシャクナゲを見に、もう一度大弛峠に脚を運んでみようと思います。

目次

- 1 大弛峠 レンゲツツジの群生
- 2 歩け歩けの集い
- 3
- 4 御柱祭 木遣りの舞台裏
- 5 鰻の眼 動物バトンリレー
- 6 教育委員会だより・お知らせ
公民館の動き・戸籍の窓口・一喜一憂

歩け歩け の集い

国営アルプスあづみの公園／堀金・穂高地区
里山文化ゾーン～田園文化ゾーン

約6km

5月28日(土)に、公民館主催による「歩け歩けの集い」が開催されました。2年間、新型コロナウイルス感染症予防のため、開催できませんでしたが、本年度ようやく募集定員を設定しつつ開催しました。39名の参加者とともに国営アルプスあづみの公園を訪れ、約6kmの距離を歩きました。当日は天候にも恵まれ、晴天の中、木々の間や、美しい景色を眺めながら、心身ともにリフレッシュすることができた1日になったのではないのでしょうか。



森林浴、すがすがしい気分になりますね。



緑豊かで広々としたロケーション！



道祖神に何のお願い事をしたのかな？

歩け歩けの集い 参加者感想

おばあちゃんとお初めて参加しました。歩いていたら富士山みたいなきれいな山が見えたり、久しぶりに会えた友だちとかいろいろな人といっしょに歩きました。家みたいなのがおおいしかったです。そのあとで行ったフラワーパークには、いろいろなチューリップとかお花がたくさんあってきれいだなと思いました。楽しすぎて、また参加したいです。

林里弥さん(小1)



歩け歩けの集いに初参加し、国営アルプスあづみの公園の約6kmを歩いてきました。

スタートしてすぐ棚田エリアの急坂に出迎えられ息を切らしましたが、自分のペースで歩みを進めて、振り返った展望は素晴らしかったです。蝉の声を背に烏川の清流沿いの木立の中を歩く清々しさも最高でした。正直疲れましたが思い出に残る1日になり、農繁期でも快く送り出してくれた家族を含め、公民館、参加者の皆さまに感謝です。

(匿名希望)



待ってました！ 2年ぶりに開催の「歩け歩けの集い」。今年は人数制限もあり子どもたちの参加は少なめでしたが、幅広い年齢層の参加者が集い交流できるのも魅力のひとつです。アルプス山岳を背景に懐かしい田園風景、棚田、子どもたちの交流。あらためて自然の恵みの大切さ、アスファルトではなく土の上を歩く大切さ、人と人とのふれあいの大切さを再認識しました。

油井 たまきさん



国営アルプスあづみの公園に着いてから、みんなで歩きました。最初は楽だったけれど、あとから景色がよかったです。登ってよかったと思います。くねくねの道に林がいっぱいあって、せみとかの鳴き声が聞こえて、夏だなあ〜と思いました。木の下で母と弟と私でお弁当を食べました。たまご焼きなどいろいろなおかずを食べたのでおいしかったです。バスに乗ってフラワーパークで、いもけんぴなどを食べました。おみやげも買って、みんなまで歩いて楽しかったです。

由井 椎菜さん(小5)

5月28日、昨日の雨が空気を洗い流し、どこまでも澄み渡る青空を演出してくれました。この絶好の日和で気分も高揚し、バス停までの歩行も軽やかに。安曇野の地は憧れで、即、参加申し込み。国営アルプスあづみの公園堀金口から約6km、少し汗ばむくらいで、暑くも寒くもなく快適なウォーキングを楽しむことができました。常念岳の眺望、北アルプスからの清流、それに田園風景、心も体もリフレッシュ、活力を取り戻すことができて感謝です。来年の企画に期待します。

M.Yさん

天まで届く木遣り唄、御柱祭の花形に密着

そもそも木遣りとは？

御柱祭で唄われる木遣り唄には「曳行の木遣り」と「神事の木遣り」があります。曳行の木遣りは御柱の曳行中に唄われるものです。曳き出すための合図、そして氏子たちの心をつなぐ役割があります。神事の木遣りは、御柱の曳行開始前、終了後に山の神様をお迎えする、お送りする際に唄われます。

居倉では『居倉木遣り保存会』に所属する若い新規会員からレジェンド会員までの厚い層で御柱祭を盛り上げています。御柱祭開催年以外には、諏訪地区へ勉強会に出掛けるなどの活動もしています。

木遣りの舞台裏

令和四年度 御柱祭



参加者からの一言

今年度は諏訪の本場の木遣りと同じく、最初の節は一息で鳴いてみようと思いましたが、みんなのやる気は例年以上に高まりました。途中、上社の本場の木遣りを教わり、合いの手も本場と同様の節に変更を。その甲斐もあり、里曳きでは貫禄ある木遣りができたと思います。子ども木遣りも連携と迫力が素晴らしく、見た目も華やかでかっこよかったです!!



他に、祖父・父も木遣りである5歳男児(年長)は、誰よりも早く祖父とお風呂で木遣りの練習を始め、山出し祭で初披露。周りの大人を魅了し、他の子どもたちも興味津々。その後、子ども木遣りの練習にも自主的に参加し、祭への意欲を感じられました。次年度には6年生として参加できる彼の姿が今から楽しみです!



居倉地区

木遣り参加者

秋山地区

子ども木遣り参加者

親方からの一言

居倉地区

会長 遠藤今朝吉さん
事務局 野本哲さん
総括責任者 遠藤喜幸さん

今年度は感染対策も配慮しながら、例年より少し遅れて木遣りの練習が始まりました。若い木遣りメンバーがパワフルで、全体の雰囲気も活気ついたスタートとなりました。伐倒祭、山出し、里曳きと、日を重ねることに鳴き方が貫禄も迫力も増していった良かったと思います。特に里曳きでは、今回ほど順調に進んだことはなく、木遣り冥利に尽きると思いました。みんなの協力無しではできない御柱祭。みんなの気持ち一つにして無事に執り行われる素晴らしさを毎回実感しています。特に今年は見事な大木だったため、建て御柱まで無事にスムーズに終わられたことに感動さえ覚えました。



秋山地区

責任者 杉原茂寿さん
指導者 高見沢勉さん

今回コロナ禍での御柱祭をどう盛り上げていけばいいか、鳴くことで飛沫のリスクはどうか考えましたが、やると決まった以上、盛り上げていこうと全員で対策を取りながら練習を始めました。子どもたちの最初の練習では、「あれ?大丈夫かな?」と不安もありましたが、練習することに照れなどもなくなり、みんなが素直に教えたことをどんどん吸収していき、日に日に全員で元気に鳴く姿が見られました。また、子どもたちで声の出し方などを工夫したり楽しんで練習していく姿に、大人も子どもに負けじと練習に気合が入り、音量も音程も揃い始めて全員で盛り上がり上がりました。子どもたちからも、練習の最中に「楽しい」という感想も聞けたことが、指導している面から見てもうれし、全員の士気が上がっていく姿もうれしかったです。本番でも木遣りメンバー全員が、声が潰れるまで出し切ったことで祭りが盛り上がったと思いますし、コロナ禍でこんな素晴らしい日はなかったと感動しました。



川上村の子どもたちと一緒に……

川上中学校 校長 金井 勝久

この4月より、川上中学校でお世話になっております「金井勝久」です。上田市立第三中学校からまいりました。上田市出身ですが、これまでに佐久地域での学校勤務はなく、この川上村が初めての佐久勤務校となりました。

私のもつ川上のイメージや印象は「日本一のおいしいレタスの産地」「美しい星空の村」「宇宙飛行士 油井亀美也さん誕生の地」「千曲川の源流」「スケートが盛んでオリンピックがたくさん出ている」等々であります。

そして学生時代に高原野菜の調査で来たことがあり、その時は出会ってわずかな私に、どんな質問にも丁寧に答えたいいただいたことやお茶を出してくださったこと、「お昼に食べな」とおにぎり握ってくださったこと、お土産にと段ボール箱いっぱいレタスをいただいたこと、それもどのお宅にお邪魔しても「兄ちゃん、レタス持つていきな」と笑顔でいってくださったこと、30年以上も昔のことが昨日のこのように思い出され、とても親切にいただいたことを覚えています。その夜、頂いたレタスを大学の仲間たちと頬張ったことを含め、このことは一生忘れません。

こんな私が赴任できたことは、何かのご縁であり、私はこのご縁を大切にしたいです。

さて、そんな中で川上の子どもたち「期待すること」について書きたいと思います。

今、学校は、大きく変わろうとしています。地域との連携や協働が求められ、子どもたちに求められる学力も大きく変わってきました。

これまでは、先生の話や授業を聞きながら知識や技能を高めていく「インプット型」の学びが主流でした。しかし、これからは自分に合ったやり方を探し、自分で考え、友だちと伝え合い、発信していく「アウトプット型」の学びへと転換が求められています。つまり、「受け身」の学びでなく、「主体的」な学びが必要となるわけです。よって授業では、与えられた資料や方法だけで追究するのではなく、端末等を自由に使い、ネットから情報を得たり、学校の仲間はもちろん、遠くの仲間や専門家ともネット等で積極的につながりながら学び合いを展開することが期待されています。そこで子どもたちに願う姿は、「何でかな」「どうしてかな」といった疑問をまずはもってほしいというところ、そしてその疑問を自分で調べながら、調べ方を工夫しながら突き詰めてほしいということです。また、

周りの人は、そんな子どもたちが疑問に感じたことを大いに認め、褒めてあげて、追究しようとする気持ちを掻き立て、後押ししてほしいと思います。そうすると子どもたちはどんどん疑問をもてるようになり、自分の力で、自分で工夫して追究し続けるはずで、川上の子どもたちはとても素直で純真です。そして誠実であり、温かいです。これは村の方々にも言えることであり、川上村の伝統、変わらない「不易なるもの」だと確信します。そんな子どもたちに、さらに探求心や主体性が身に付き、自分や自分の考えに自信をもち始めたなら……考えただけでワクワクします。こんな視点からの授業を進めてまいります。

6月、中学では中体連が始まります。3年生にとっては部活動の総決算であり、自分たちの実力を確認する場でもあります。子どもたちが力を出し切り、次の大会へとコマを進められることを応援し、願っています。

最後になりましたが、中学校では多くの地域の方々ボランティアや部活動の外部コーチとして協働していただいています。本当にありがとうございます。こうした動きがうねりとなり、部活動指導員や学習ボランティア等へとさらに拡大できたらと思います。

今後、いろいろな面で皆様方にお世話になり、ご理解、ご協力をいただく場面が多いかと思いますが、よろしく願います。

動物バトンリレー

山中 篤さん宅(秋山)

■ウーパールーパー

飼ってから、3倍くらい大きくなりました。どこまで大きくなるか楽しみです。



■エジプトヘリュビカナヘビ

息子がペットショップで一目惚れしてから、3年くらいになります。コオロギが大好きで、ピンセットであげるとジャンプして食べる姿がかわいいです。

令和8年4月開校に向けて 川上村統合小学校建設整備計画（素案）イメージ公開

5月10日（火）、設計業者を決める審査会が、設計会社7社の参加で行われました。審査会では、村が提示した共通の課題に対し、各社それぞれがその解決策を提示し、厳正な審査の結果、小諸市の株式会社東浜設計に決定しました。素案は、村ホームページからダウンロードまたは川上村教育委員会で閲覧ください。

川上村統合小学校建設整備計画（素案）についてご意見を募集します。

- 意見の募集締め切り 令和4年8月31日（水）まで【必着】
- 計画素案の入手方法 村ホームページからダウンロードまたは川上村教育委員会で閲覧ください。
- 意見を提出できる方
 - 本村に住所を有する方
 - 本村に事務所または事業所を有する個人及びその他の団体
 - 本村に存する事務所または事業所に勤務する方
 - 本村に納税義務を有する方
 - 「川上村統合小学校建設整備計画（素案）」に利害関係を有する方
- 意見の提出方法

意見応募用紙をホームページからダウンロードし、住所・氏名を必ず記入の上、次のいずれかの方法により提出してください。

※意見応募用紙は、個別に郵送することも可能です。

 - 持参される場合の提出場所

川上村文化センター 川上村教育委員会 学校教育係

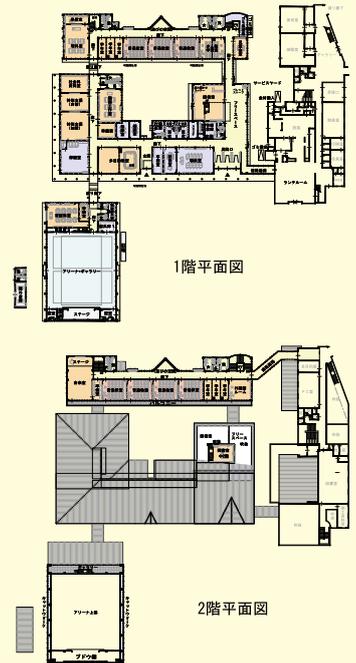
※募集期間中の月曜日～金曜日（祝日を除く。）8:30～17:15
 - 郵送される場合の郵送先

〒384-1405 長野県南佐久郡川上村大字大深山 348-9

川上村文化センター 川上村教育委員会 学校教育係 あて
 - 電子メール

togo-school@vill.kawakami.nagano.jp
- 注意事項

電話や口頭のご意見は受け付けておりません。ご意見等については、村の考え方を付して公表する予定です。提出されたご意見等に対する個別の回答はできません。



問い合わせ先 川上村教育委員会 97-2000

お知らせ

令和4年新規奨学金奨学生募集

社会に貢献する人材を養成するため、経済的理由により修学困難な方に対して、川上村では奨学金を無利子で貸与しています。他の奨学金との併用も可能です。募集は随時受け付けています。なお、貸与には条件がありますので、詳しくは川上村教育委員会までお問い合わせください。（電話97・2600）

- 貸与額……大学等 月額40,000円
- 高等学校等 月額30,000円
- 貸与期間……学校の正規の修学期間
- 返済方法……卒業後1年経過してから、貸与期間の2倍の期間で返済



公民館の動き

- 5月13日 館報編集委員会
- 5月28日 歩け歩けの集い
- 6月28日 川上村若妻会 第1回定期総会

戸籍の窓口

三月一日～四月三十日受付

お誕生おめでとうございます

由井 美桜	将輝	伊藤 愛梨	克弘	遠藤 碧人	和秀	遠藤 壮真	明音	渡邊 星	浩二
聡美	伊那市	梨紗	大深山	あおと	秋山	そごま	居倉	しゅう	ひかり

結婚おめでとうございます
末永くお幸せに

お悔やみ申し上げます

田村 チサミ	91歳	御所平	井出 巖	87歳	御所平	今枝 清子	91歳	御所平	菊池 喜久	86歳	原	日向 はまこ	101歳	大深山	岡部 文高	72歳	御所平	菊池 さと子	84歳	大深山	加藤 末子	72歳	秋山	小原 健光	73歳	居倉	小須田 武富	88歳	原	由井 惇子	93歳	御所平	土屋 武子	79歳	御所平
--------	-----	-----	------	-----	-----	-------	-----	-----	-------	-----	---	--------	------	-----	-------	-----	-----	--------	-----	-----	-------	-----	----	-------	-----	----	--------	-----	---	-------	-----	-----	-------	-----	-----

一喜一憂

マスク社会が緩和されてきましたね。個人的にはコロナ禍前から便利グッズでもあったマスク。鼻炎持ちで季節の変わり目ごとに鼻周りが赤く、その見た目を隠せたり、実際症状も和らいで良かったのですが、サービス業での勤務中のマスク着用はもっての外でした。しかし、今では世間全般に必須アイテム。マナーとしても定着するくらい。ここまでするとちよつと煩わしさも感じていました。四六時中息苦しさも感じますし、何より相手を認識しづらいことが寂しいです。声をかけられるまで相手が誰なのかわからなかったり、知り合いだと思つて手を振つたら全く知らない人だったり。感情も伝わりにくい「壁」さえ感じる気もします。これからは感染対策ともいわずに付き合ひ、マスク以外にも少しずつ「壁」を取っ払いながら、心も少しずつ解放されていく日を期待したいですね。

TN2



【村勢】

総面積	209.61km ²	総人口	3,598人
世帯数	1,196戸	男	1,862人
		女	1,736人

(6月30日現在)